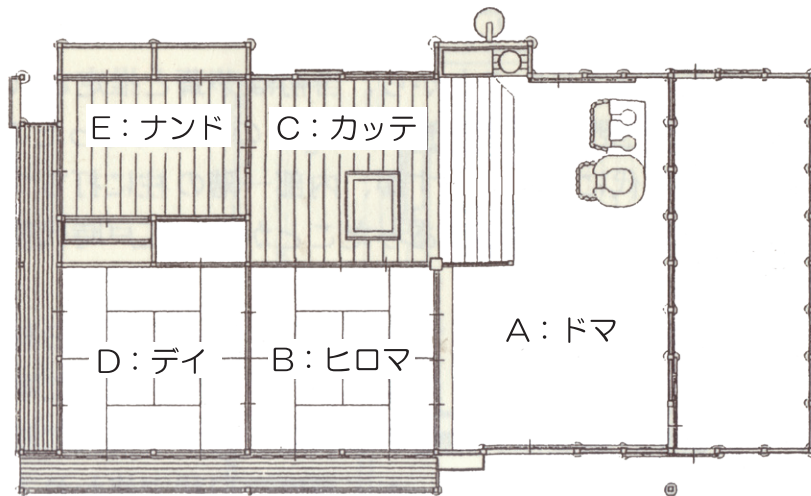


部屋の機能

部屋の呼称や役割には、各家によって違いがあります。

- A：ドマ 炊事の間でもあり、大切な農作業の間でもあります。
- B：ヒロマ 家族の作業の間として使われます。
- C：カッテ 囲炉裏が切られ、炊事や食事を通して家族が向き合う貴重な場所です。
- D：デイ 接客のための部屋。床の間などのしつらえを設け他の部屋よりも部屋の意匠が凝っています。
- E：ナンド 家族の生活の間。この部屋で寝起きをし、家財道具一切をナンドにしまします。



(世田谷区立次大夫堀公園民家園旧加藤家住宅主屋)

しつらえ

接客のための座敷飾りの一つとし^{とこ}床の間^まがあげられます。床の間に^{しよん}違い棚^{ほんどこ}、そして書院がつく本床形式は一般の農家ではあまり見られず、多くは床の間の横に2段の押入れや簡単な平書院を備えたものでした。



本床形式の床の間



床の間に平書院がついたもの

床面の種類

民家の床面は、おもに土間、板敷き、畳敷きからなります。はじめは土間にムシロなどを敷いただけの床面でしたが、やがて板敷きの部屋や、畳を敷いた座敷をつくるようになりました。